

市長メッセージ

第6次富良野市総合計画の策定にあたり

少子高齢化・人口減少、ICT（情報通信技術）の進歩は、私たちの想像を超えるスピードで変化しています。

平成から令和に変わり、新しい時代に向けて、人口増加を前提としたまちづくりではなく、既存資源を有効に活用しながら個性や魅力を磨き上げて、暮らしの質と活力を高めるまちづくりへ転換することが必要となっています。

社会情勢を的確に把握し、まちづくり戦略を長期的な視点で考える必要があり、これからの10年は、より良い形で未来の世代に引き継ぐための重要な期間となります。

第6次富良野市総合計画のまちづくりスローガンは…

「『美しい』のその先へ。WA！がまち、ふらの」です。

市民の価値観や課題が多様化する中で、地域の活力を維持・向上させ、次世代に元気な、魅力ある「富良野」を引き継いでいくためには、市民と行政が共に考え、アイデアを出し合い、共に創っていく、「共創」によるまちづくりを様々な主体と取り組んでいく必要があります。

また、デジタルの利活用は、市民の生活や環境の最適化を図り、持続可能な都市を構築していくものでありますが、あくまでも個人に配慮した運営方針のもと、富良野らしさを無くさないよう進めていかなくてはなりません。

市民と行政が一緒になって、「健康で生きがいを感じ、幸せを実感できるまちづくり」を推進していくためには、それぞれの個性や違いを理解し、同じ方向に向かって進んでいくことが大切となります。

健康で幸せな未来を創り出すために、始められることがあります。

みんなで『美しい』のその先を見に行きましょう！

令和3年3月

富良野市長

北 猛 俊

